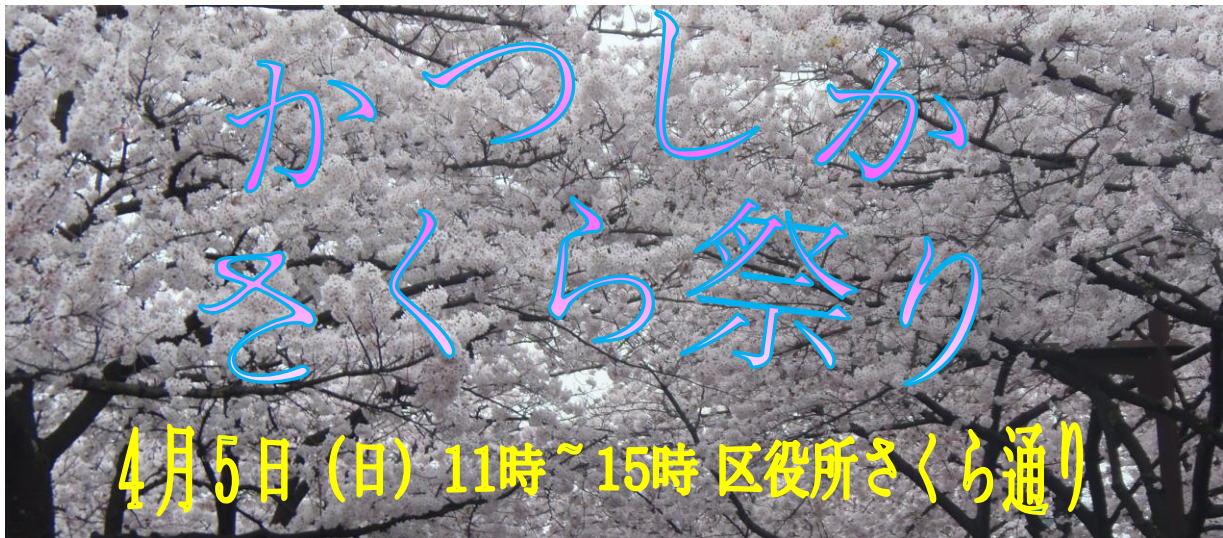


2015年4月  
第2号



# みずま雪絵と歩む会

〒125-0063  
葛飾区白鳥3丁目25番7号  
コーポ坂上302号室  
TEL6662-7623 FAX6662-7617  
編集責任者 望月 行雄



女性中心にがんばる  
**平和を守る会**



**後援会に加入しよう**  
年会費は、1000円です。  
身近な後援会役員並び水摩雪絵議員に申し込みください。

小雨の中 奮闘する水摩雪絵議員

区民の不利益には「反対」する



共同代表 鈴木 賢二  
葛飾区白鳥在住

最近の事情

最近いろいろなことを考える、特に、若い人や子供達の未来についてである。

私たちと同じ年代の大人達の会話では、僕らの時代は良かったよな・・・！ しかし、これからの若い人や、子供達のことを考えると大変だと言う会話がとても多い。

就職先の少なさや、生活の困難性が目に見えているからである。・・・何でこんな社会に成ってしまったのか？ これから先どうなるのか？ 私達自身が疑問だらけである。

年配の人達も、現役の人達も、そして若い人も、一緒になって、どう生きていくべきかを勉強しなければ成らない時代である。

水摩さんは、まだ若いし勉強熱心なので、こうした問題を共に語らいながら、未来を共有していける議員になるだろうと思う。

学習・学習・また学習である。

桜も、見ごろを終えました。平穩に季節が移り行くように見えます。しかし、今、私たちが生きている社会は急激に変わってきています。生きづらく。働きづらく。貧困になりやすく。戦争が起

こりやすく。原発事故は終焉が見えず、生活より基地移設を優先、労働法制・社会保障制度の改悪、憲法改悪。現政権はやることなすこと、国民を「豊かな暮らし」から遠ざけています。葛飾区議会議員選挙の時、「国政と区政は別」と言っている候補者がいま

した。それは、当たってもいるし、間違ってもいます。「国政と区政は別」は行政が出した議案に、何も提言せず、賛成ばかりする人が言うのと、あくまで、区民の利益を考へ、不利益となることには反対する人が言うのとは、意味がずいぶん違

候補者は前者でした。各自自治体独自の課題もありますが、国の決めた(又は変えた)法律に準じて、条例改正の議案が区議会に数多く上程されます。葛飾区議会では、行政発信の議案は100%原案可決されています。議会は行政のチェック機関です。区民にとって不利益となる議案には、反対も、提言もすることがない議会は、必要のない存在になってしまいます。

現政権が行っている事については、私は前述のように考えています。区議会では、区民の不利益と考える議案には、「反対」の判断も行い、「豊かな暮らし」に近づけるよう提言していきたいです。

基地はいらない

▼2月14～17日、戦争協力のNO！葛飾ネットワークで沖繩に行ってきた。沖繩には独特の文化が根付いていると実感。辺野古では沖繩県民の「基地はいらない」という民意を無視して、工事が強行されていた▼4月5日、翁長知事と菅官房長官が会談。「辺野古に基地はできない」と毅然と話す知事。「粛々と工事を進める」と繰り返す官房長官。「危険な普天間飛行場が固定化する」と言う▼だが普天間は米軍が銃剣とブルドーザーで、人々から土地を強奪して作った飛行場。米政府に撤去を求めるべきではないか。民意を無視し、「粛々と」沖繩をふみにじる安倍政権。許せない！ (尾澤邦子)